

時代が変わる。川西を変える。

さあ、かわにし **新** 時代へ。

2024年2月14日
PTA連合会意見交流会
「川西市の教育施策について」
川西市教育委員会

令和5年「こども基本法」の施行

「児童(=子ども)の権利条約」の精神

子どもが意見表明できる機会の確保

子どもの意見の尊重、施策に反映

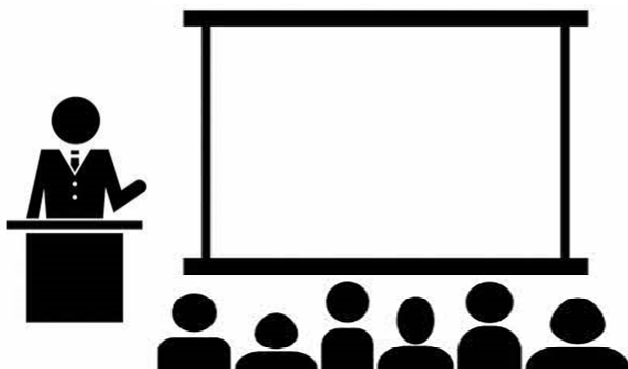


法律を踏まえた教育活動へ

教育委員会でサポートする取組

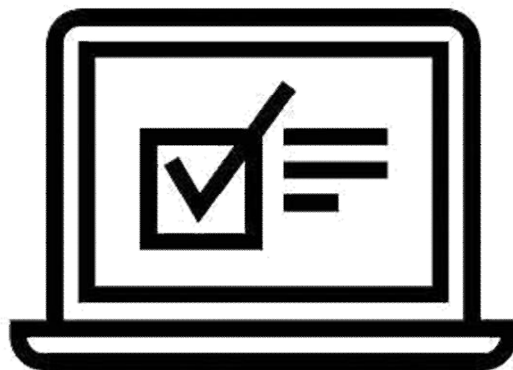
「こどもの人権」学習会

子どもの人権について専門的な知識のあるゲストティーチャーを招聘し学習会を開催します



意識調査の実施

子どもに聞きたいことをアンケート形式で実施し、教育委員会で集計作業を行います



教育委員会との意見交流

子どもたちの意見を教育委員会に伝える場を設けます



「教育大綱」の策定

生徒を対象にアンケート調査

調査結果から学校で意見集約

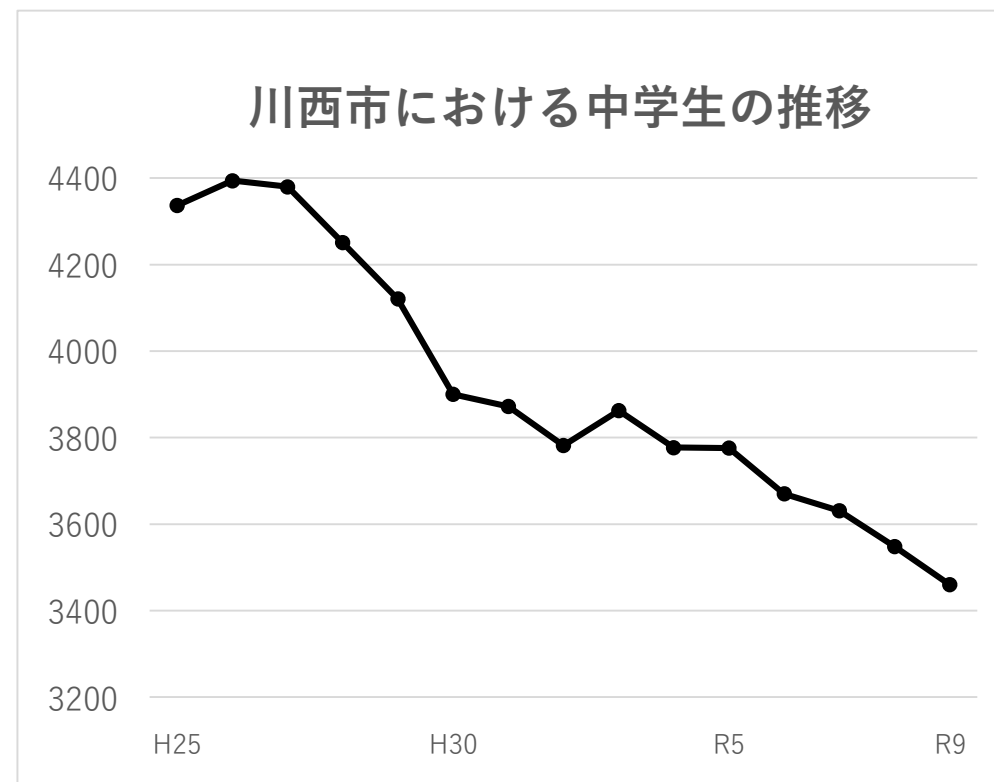
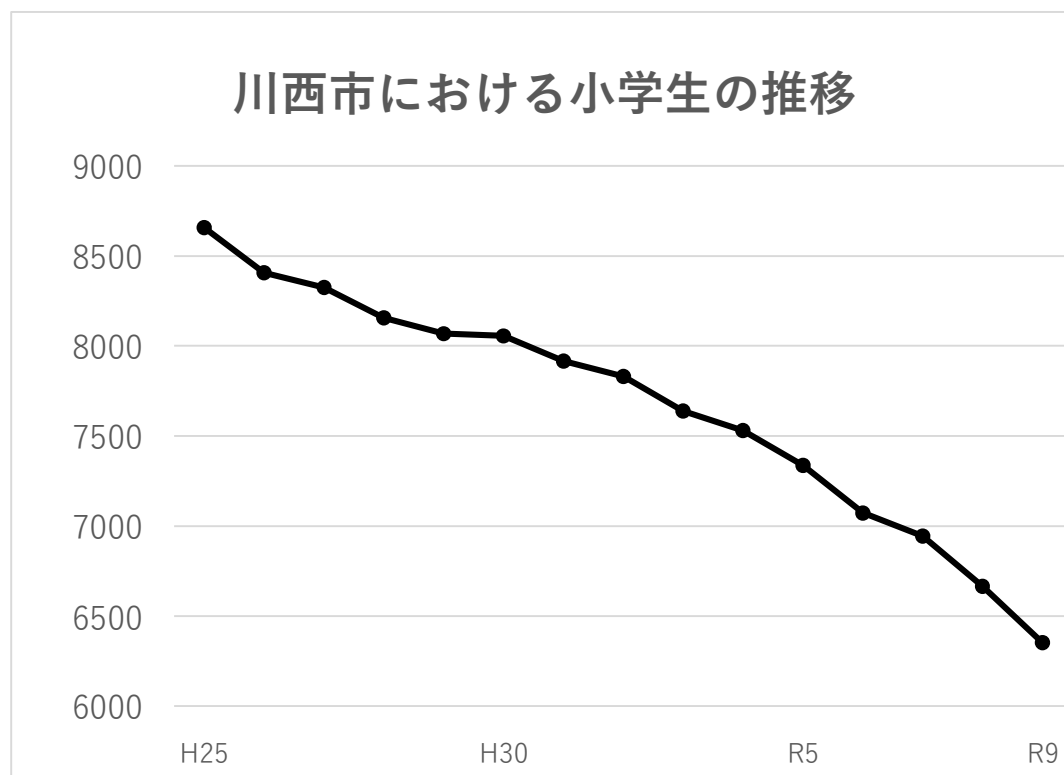
市長・教育長等と意見交流

市民とタウンミーティング

パブリックコメント



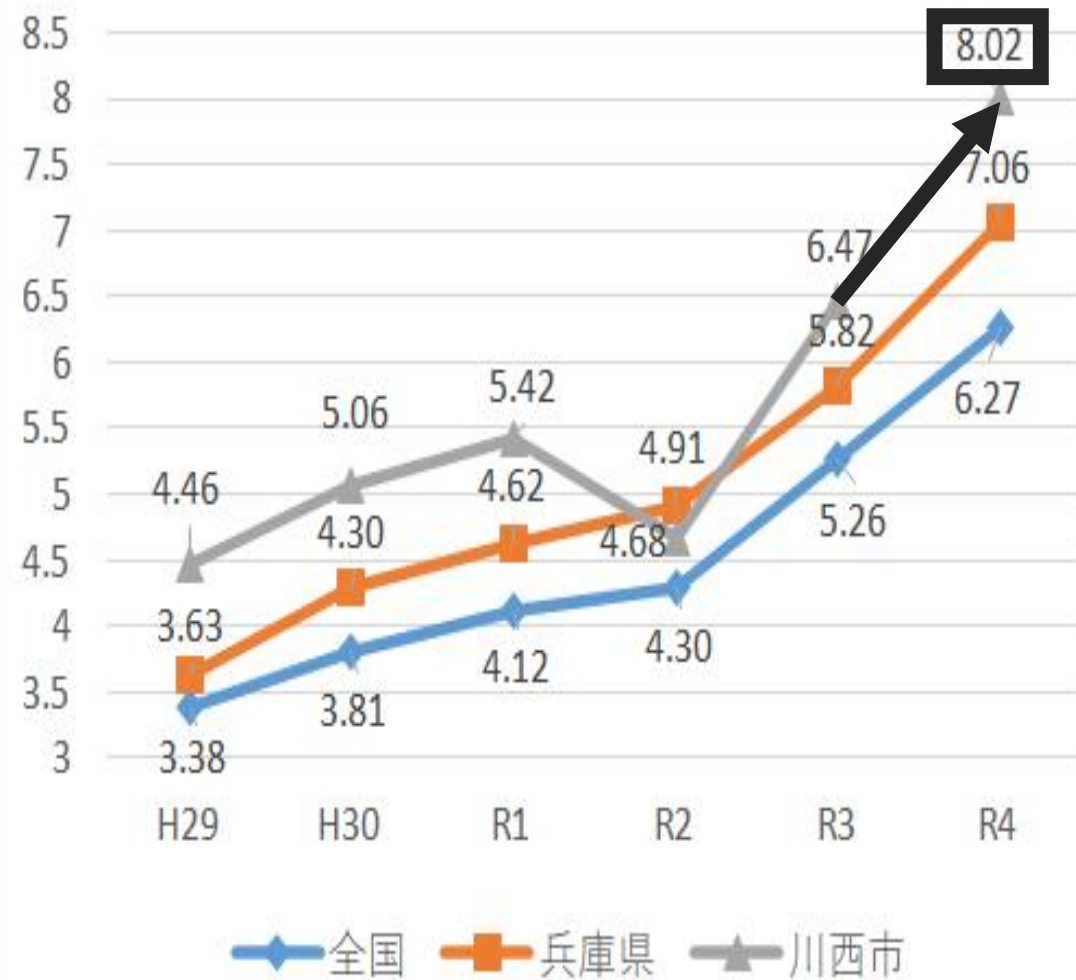
児童生徒数の推移 (学校基本調査より)



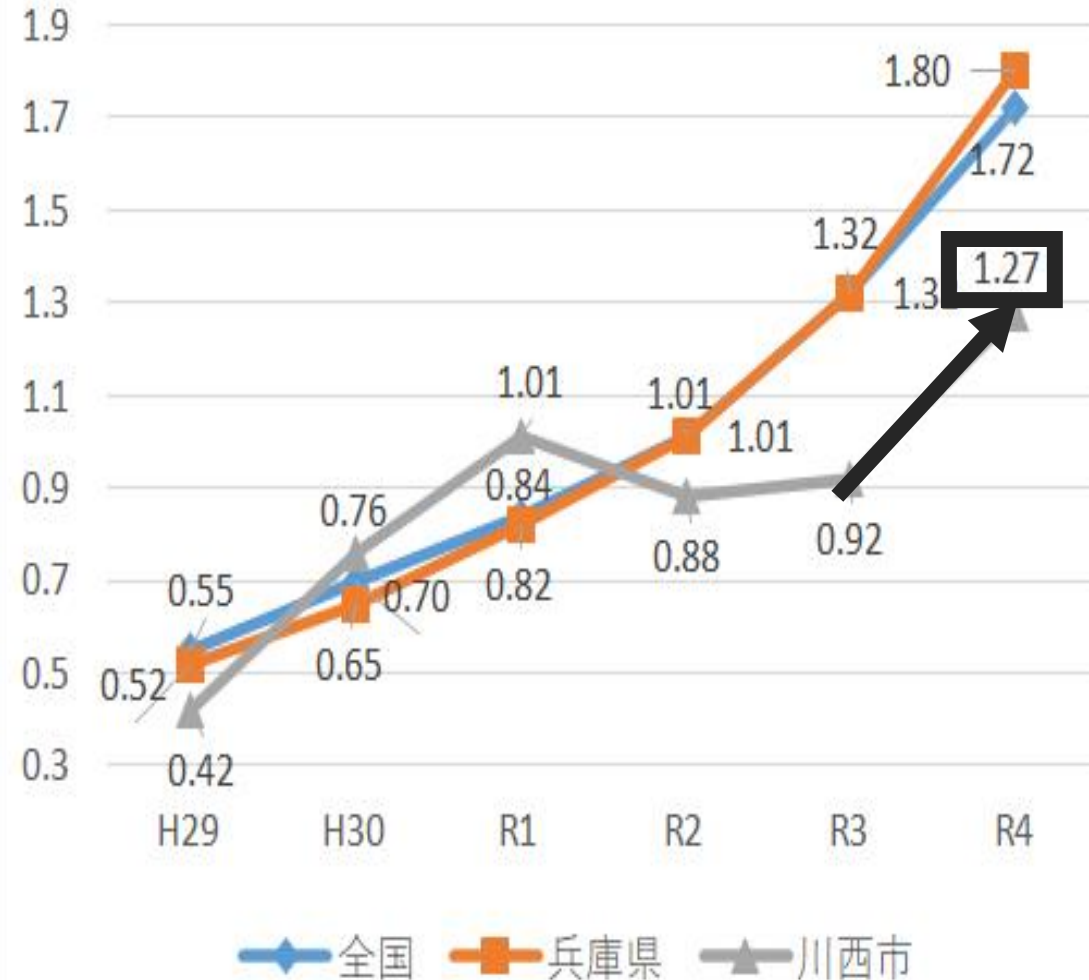
⇒令和6年度「(仮称)学校のあり方審議会」を設置

小・中学校における不登校の割合

中学校における不登校生徒の割合



小学校における不登校児童の割合



学校で取り組んできた「不登校対策」

- わかる授業、研修の充実
- 地域連携、関係機関連携
- 特別活動、学級経営の充実
- 一人一台端末の活用
- 校内サポートルームの設置

・授業力づくり
・教職員の資質能力向上

・チーム学校の構築
・組織対応

・仲間づくり
・絆づくり

各学校において、実情に応じた取組を進めているものの、不登校児童生徒数は増加し続けている現状がある

多田中学校 校内サポートルーム（ほっとルーム）①



学習のスペース

交流のスペース



くつろぎのスペース

多田中学校 校内サポートルーム（ほっとルーム）②



図書の本や通信の掲示物



パズル・ゲーム



生徒作品

4つの課題（今後の支援施策の柱）

1. 魅力ある学校づくり

2. 統一したアセスメントに基づく支援体制の構築

3. 相談しやすい窓口づくり

4. 校外の学びの場の充実

子どもたちが将来をより良く生きる力を培い、
社会的に自立できるための支援の充実

学校運営協議会と地域学校協働活動...令和6年度に全校園で実施

かつての学校の役割

授業

学校行事

生徒指導

部活動

中学校教員の37%が「過労死ライン」
(R4年度勤務実態調査結果)

子どもたちの65%は、今は存在していない職業に就く
(ニューヨーク市立大学院センター教授)

今後10～20年で約47%の仕事が自動化される可能性が高い
(オックスフォード大学准教授)

現在の学校の役割

授業

主体的、対話的で深い学び
ICTの活用・情報教育
小学校の外国語教育
レッテル教育
(環境・消費者・租税・主権者...)

学校行事

生徒指導

部活動

心理・福祉面での支援

学校外での生徒指導

通学路の安全確保

保護者対応

特別支援教育の充実

説明責任の増大

長期休業のあり方検討がスタート

市内中学生との意見交換会より

- ・冬休みはクリスマスやお正月など行事が多く、長くしてほしい（受験勉強の時間の確保、家族ともゆっくり過ごせる）
- ・夏休みを少なくし、普段の登校日数を週3、週4に変更してほしい

保護者の意見

- ・夏休み以外に子どもとの時間を確保したい
- ・夏休み、子どもが家にいる時間が長くなることで負担が増える

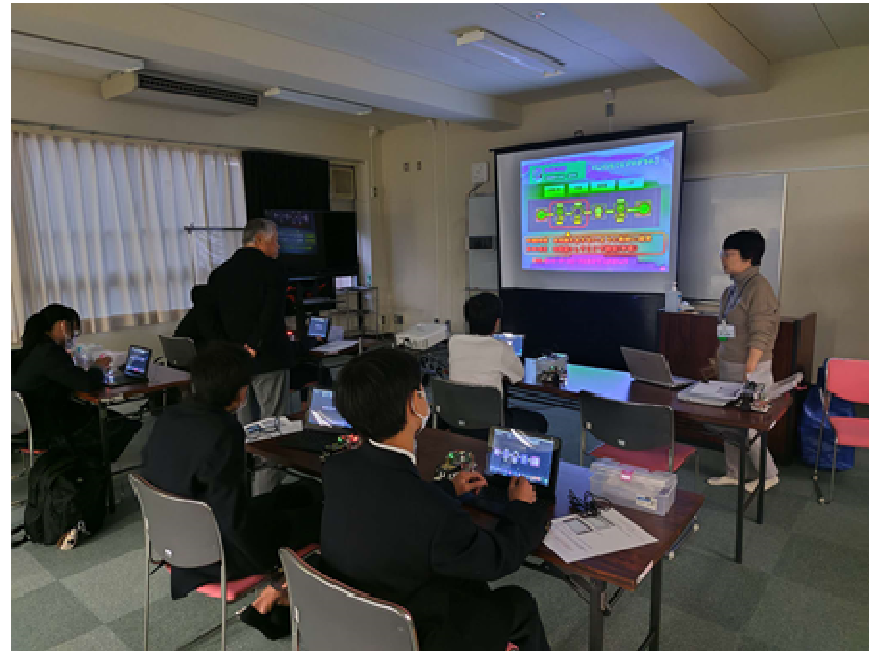
教職員の課題

- ・春休みが短く、新年度の準備に慌ただしい
- ・2学期が長く、心身の負担につながる



意見交換会 → 令和7年度の試行実施へ

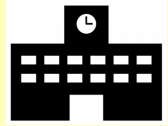
部活動における 社会移行について



「社会移行」のイメージ

学校部活動

地域クラブ



活動場所

学校施設

学校施設

個別施設・文化施設



活動日数

週3～4日

週1～4日

※種目によって柔軟に設定



参加者

中学生

参加範囲を柔軟に設定

※1校、複数校、多世代・・・



指導者

学校の教員

地域指導者

働き方改革の取り組みについて

【教職員の意識改革】

- * 勤務実態の把握
- * 留守番電話の導入
- * 部活動ガイドラインの策定
- * 学校業務休止日の設定

【ICTの活用・事務改善】

- * 校務支援システムの導入・活用
- * 学校等と家庭をつなぐ連絡アプリの導入
- * 学校テスト採点集計システムの導入
- * インターネットバンキングの導入
- * 学校給食費の公会計化

【外部人材の活用】

- * スクールサポートスタッフの配置
- * 学校運営協議会制度の推進
- * 弁護士相談の実施
- * 外国語指導助手・地域人材の配置
- * スクールソーシャルワーカーの配置

【業務の見直し】

- * 連合体育大会の廃止
- * 連合音楽祭の廃止
- * アンケート調査の精選・簡素化
- * 市指定研究授業の精選
- * 市教委主催会議（校長会議、教頭会議）

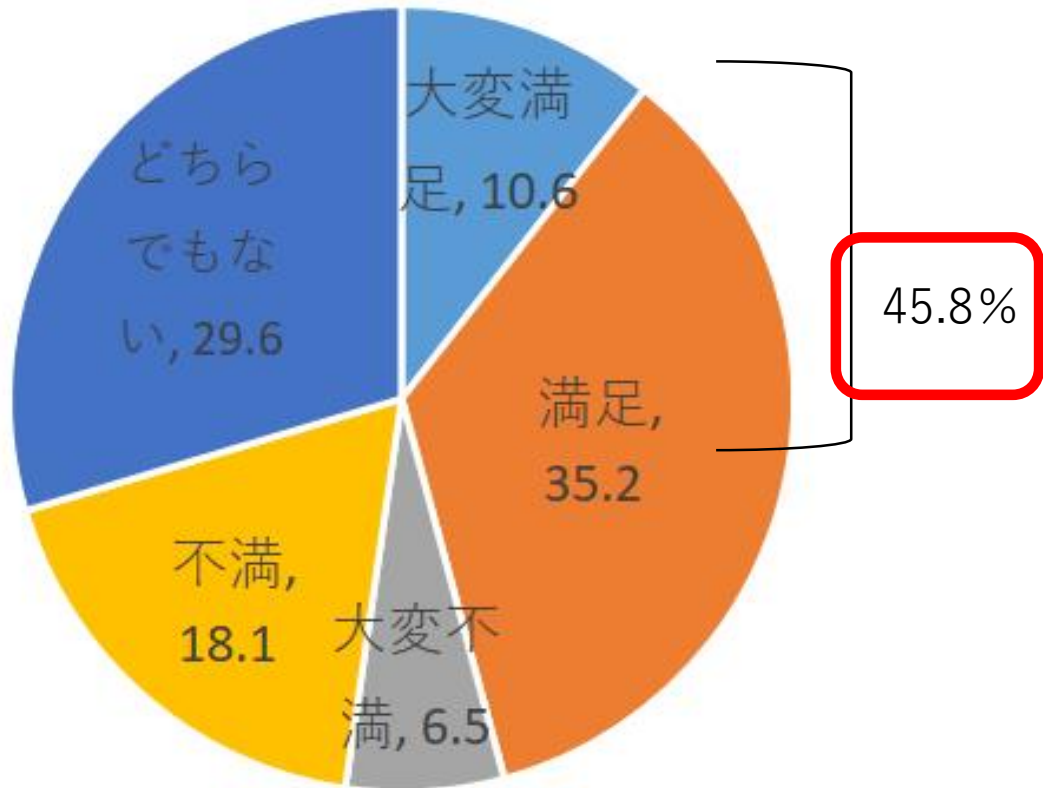
令和4年
9月開設

中学校給食センター

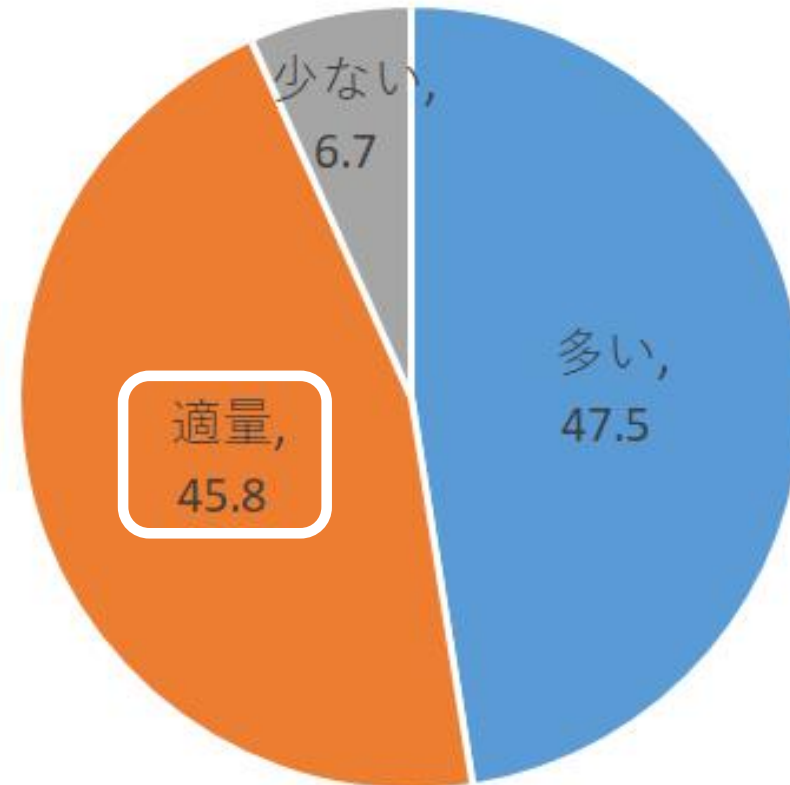


給食に関するアンケート調査 (R5年12月)

給食の印象について



ごはんの量について



兵庫県立川西カリヨンの丘特別支援学校

**R6年
4月開校**



(パース)

- 【設置場所】川西市丸山台3丁目
敷地面積約13,000㎡
- 【障害種別】知的障害
- 【設置学部】小学部・中学部・高等部
- 【児童生徒数】約120人
- 【通学区域】川西市・猪名川町

R5年度 教育に関する取り組み

①電子黒板の導入

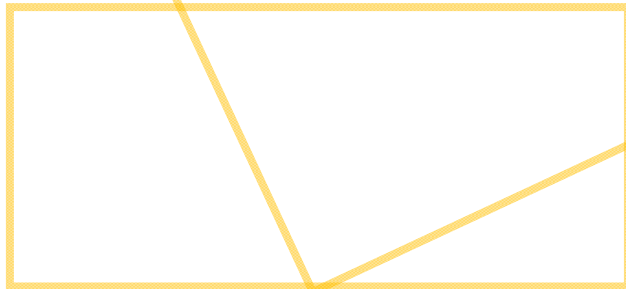
②中学校での少人数授業の実施

③校門オートロックシステムの導入

④学校へのエシレーター設置（桜が丘小・明峰小）

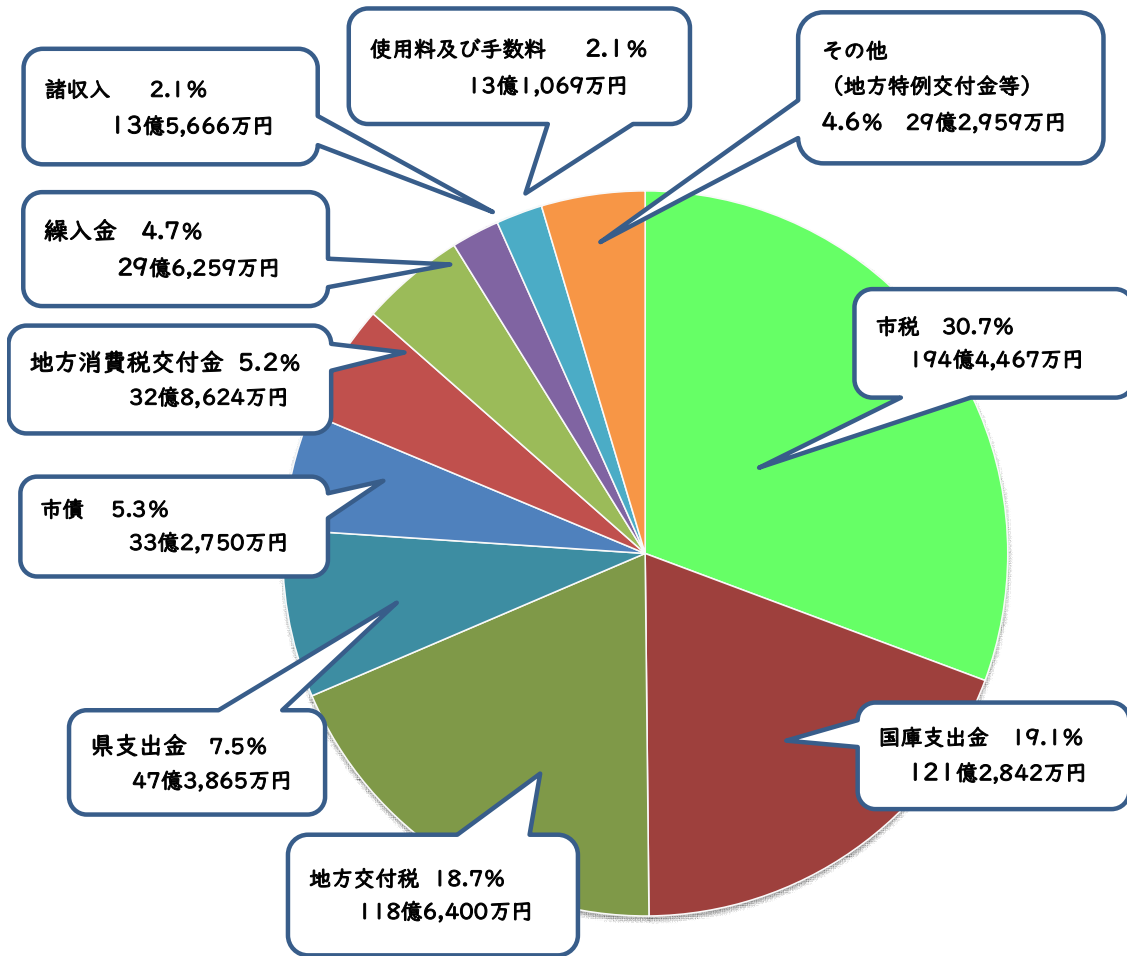
⑤学校園所徴収金の見直し

⑥保育施設での医療的ケア児の受け入れ

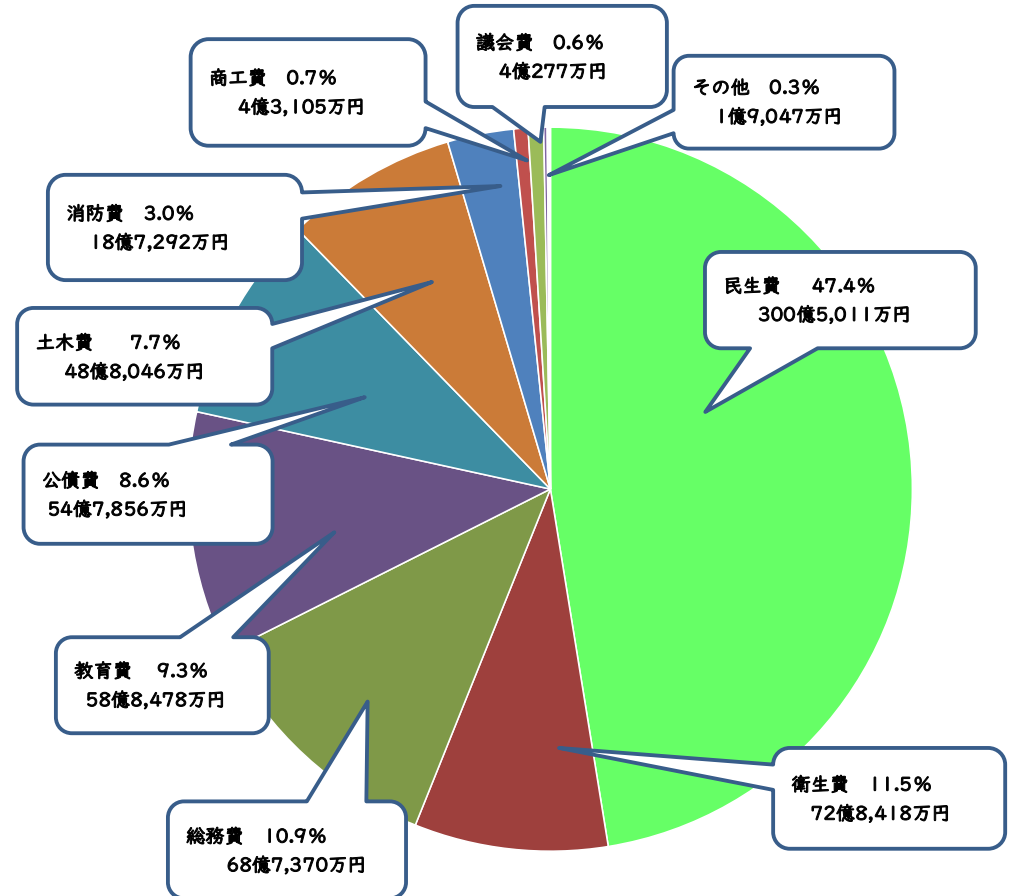


R6年度 一般会計予算案

歳入 総額 633億4,900万円



歳出 総額 633億4,900万円



R6年度 教育に関する取り組み(予算案)

①中学校での自転車通学の試行実施

②民間プールを活用した水泳授業の試行

③小中学校体育館への空調整備

④校内サポートルームの充実

⑤民間事業者による中学生の放課後学習支援

⑥学校へのエレベーター設置(久代小・加茂小)

⑦学校へのエレベーター設計(多田東小・牧の台小)

